

## 会議録 (1)

会議の名称	令和4年度第3回図書館協議会
開催日時	令和5年3月17日(金) 開会 午前10時00分 閉会 午前11時55分
開催場所	飯能市立図書館 多目的ホールA
議長氏名	頓所 裕子 委員長
出席委員	岩崎 充千子 湯川 康宏 松下 晃 中村 公一 森 美由紀 町田 光子 村野 みどり 頓所 裕子 野崎 道子 石川 賀一
欠席委員	
説明者の職氏名	図書館長 紫藤 悦子 図書館主査 大野 弘子 図書館主査 竹井 順子
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	同上



## 会議録 (3)

午前10時開会

- 主 査 定刻となりましたので始めさせていただきます。  
本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。  
本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。  
本日、欠席の委員はございません。  
飯能市図書館条例第12条第2項により、出席委員が過半数に達しておりますので、ただ今から飯能市図書館協議会を開会させていただきます。  
最初に、この会議につきまして公開とさせていただくことにご異議ございませんか。  
(異議なし)  
傍聴の申し出があった場合は許可することにご異議ございませんか。  
(異議なし)
- 本日の協議会は公開としますが、傍聴者はおりません。  
それでは、開会に当たりまして、紫藤館長からごあいさつを申し上げます。
- 館 長 ( あいさつ )
- 主 査 続きまして頓所委員長よりごあいさつをいただきます。
- 委員長 ( あいさつ )
- 主 査 3の協議事項に入ります。  
協議に先立ちまして、本日の資料を確認させていただきます。  
資料はおそろいでしょうか。
- それでは、協議事項に入らせていただきます。  
規則にしたがいまして、委員長に議長となつていただきます。  
頓所委員長、議事の進行をよろしくお願いいたします。
- 委員長 しばらくの間、議長を務めさせていただきます。  
委員の皆様のご協力をお願いいたします。  
協議事項に入ります。  
協議事項(1) 令和4年度図書館の利用状況等(4月～2月)についてを議題といたします。  
事務局の説明を求めます。

館長他	(資料1 により説明)【紫藤館長】 (資料1-1 により説明)【紫藤館長】 (資料1-2 により説明)【紫藤館長】 (資料1-3 により説明)【竹井主査】 (資料1-4 により説明)【紫藤館長】
委員長	説明は以上です。 質疑、ご意見はございますか。
委員	資料1 について伺います。来館者数が105%、登録者数も110%と増加しているのに対して、利用人数、貸出冊数が減っています。理由として推測されるものはありますか。
館長	学習席の利用には利用券が必要なため、来館者数や登録者数が増加していますが、図書の貸し出しに繋がらなかったということだと思われま
委員	資料1-1 についてですが、令和3年度までの統計になっています。今年度の統計が出ていないためだと思いますが、令和4年度も含めて来年度資料として提出していただけるといいと思います。
館長	ご指摘のとおり、来年度の第1回協議会で令和4年度まで入れたものをお示ししたいと考えております。
委員	資料1-3「ミニシアター」の内容にミュージックシアターとありますが、これはどのようなものですか。
主査	「ミニシアター」の実演をしてくださった「絵本とおはなしの会ぐるんぱ」は人形劇を専門に行ってるグループです。新型コロナウイルスの影響があり、声を出さずに楽しんでもらえるように、音楽を流しながら人形を動かし、体操をしたりボールを転がしたりしました。言葉ではなく、音楽にあわせて行う人形劇のようなものだと考えていただけるといいかと思
委員	今年度から学童におはなし会に行っています。来年度からは幼稚園にも出向く予定ですので、こういった情報をいただければと思います。
委員	9月からブックスタート事業が始まりましたが、状況を伺いたいです。コロナ禍のため、絵本は図書館で指定したものを差し上げていたと思います。感染症への対策が緩和されてきたときには、何冊かの中から選ぶことができるようになるのでしょうか。

主 査	現在は、コロナ禍により図書館で選んだ本をお渡ししています。ただ、その本をお持ちの方もいらっしゃると思われまので、予備の本も用意しております。これから状況が変わりましたら、健康づくり支援課と調整を図りながら、どのように絵本を手渡していけばより効果的か考えていきたいと思ひます。
委員 長	ほかに質疑、ご意見はござひますか。 (質疑無し)
委員 長	質疑が無ければ次に移ります。
委員 長	協議事項 (2) 令和4年度の図書館評価指標の令和4年度2月末中間報告についてを議題といたします。 事務局の説明を求めます。
館 長	(資料2により説明) 【紫藤館長】
委員 長	説明は以上です。 質疑、ご意見はござひますか。
委 員	<p>指標の全てを行おうとすると大変だと思ひます。評価項目11の他機関との連携では、191%という数字となっていますので、その分、他の業務に割ける時間が減ってしまうのはやむを得ないかと思ひます。</p> <p>評価項目14の高齢者施設への団体貸出も目標値を上げたにもかかわらず100%を超えています。同様にボランティアの活動についても驚異的な伸び率になっていて将来楽しみだと思ひます。</p> <p>その中で課題として挙げさせていただくのは、評価項目10のレファレンスの掲載件数です。これは、ハードルが高かったかと思ひます。職員の入れ替わりもあり、レファレンスの質を維持していくのは難しいと思ひます。指標は変えないにしても、なるべく多く入れるためにはどうすればいいのか考え、少なくともこの項目だけは入れていこうという基準を決め、まずは数を入れていき、後から質を追っていったらどうかと思ひます。掲載するという姿勢を職員全員が共有することが大事なのかと思ひます。</p> <p>同じ意味で申し上げると、評価項目1図書館職員の研修受講の目標達成率が60%になっています。理由としては、令和3年度の結果が良かったので、その数字を目標に挙げたためだと思ひます。実績としてはクリアしていると考えていいのではないのでしょうか。オンラインでは簡単に参加ができたものが、会場に出向いていく研修では参加が難しくなると思ひます。ここは、研修の質量ともに維持をしていただければと思ひます。</p>

- 館 長 貴重なご意見ありがとうございます。  
ご指摘いただいたとおり、目標値を達成しているものもあります。これは、職員が計画してきたものをコロナ禍におきましても、できる方向で取り組んできた成果だと考えております。一方、目標の設定から難しかったと考えられるものもありますので、来年度以降、職員全体で何に重点ポイントを置いて定めていくのかが重要であると認識しました。ご意見を生かしながら、進めていきたいと考えております。
- 委 員 目標を達成したものについて、なぜ達成したのか伺いたいと思います。
- 館 長 一点お伝えしますと、友の会の皆様の実績がすばらしく、今年度は、新規メンバーが7～8人、高校生も含めて若年層の方が入会してくださいました。職員も友の会メンバーも士気が上がり、毎月の定例会の参加者もとても多く、個別活動についても活発に参加してください、こちらが数値に現れたのだと受け止めております。自発的な姿勢に感謝しております。
- 委 員 コロナ禍だったからできたこと、今後コロナが収束したらできなくなることなどを踏まえて目標値を設定していただけたら良いと思います。
- 委 員 評価項目13の12歳以下の子ども1人当たりの貸出数は、今年度まだ途中ではありますが13.3冊と、16冊の目標値に届いていません。その理由で思い当たるものはありますか。
- 館 長 昨年度の実績から見ると、数冊程度で、微差であると見ていました。子どもの読書推進に関しては長期スパンで見ていく必要があるかと思えます。効果的な取り組みを実践していくことが重要だと思いますので、学校や関係機関と連携を深めて前に進めていきたいと考えているところです。児童担当から、推察できるところがあればお願いします。
- 主 査 こども図書館では、コロナ禍の折、貸出実績は上がりました。家の中で過ごす時間に読書をするため、たくさんのお子どもたちが本を借りに来てくれました。今年度はコロナ対策が少し緩和されてきて、外に出る機会が増えたためではないかと推測にはなりますが考えております。
- 委 員 12歳以下で本を読むか読まないかで、一生のうちに読書好きになるかどうかが決まると思います。子どもの頃に読んだ人は、少し離れて大人になっても読もうかなとなると思います。非常に大切な時期だと思いますので、頑張ってくださいと思います。
- 委員長 ほかに質疑、ご意見はございますか。

委員

資料1-3の図書館見学、学校施設訪問についてですが、市内の2年生は図書館見学に来ているものと思ったのですが、少ないのだなと思いました。2年生は図書館、4年生は博物館というように学校で計画されているのではないかと思います。

学校施設訪問は、要請のあった学校に行くのだと思います。数字が達成されるされないは、図書館の運営には大事な数値でしょうが、図書館に来られるかどうかは、近くにあるかどうかの距離の問題もあると思います。先程のお話の中で、小学校までに読書体験するかどうかが大事となると、タブレットだけでは読書人口は増えていかないのではないのでしょうか。

施設訪問は、職員の日程調整が大変だと思いますが、ブックトークは興味をそそりますし、必要不可欠な事業だと思います。学校単位の体験は、年齢がそろっていて、お話しする方でも紹介しやすいですし、伝えやすい事業だと思いますので、この学年とターゲットを絞り、年に1～2回はブックトークなどの事業を、図書館から働きかけて制度化することはできないのでしょうか。

日高市では語りの会のメンバーが多いです。年間1回以上どのクラスにも訪問しています。それを組むのが市の図書館ですが、そこは市よっての歴史もあり難しいでしょうが、ブックトークの上手な図書館司書がついているのですから、各学校に行き、小学校6年間在籍中に1回以上体験できる土壌が、将来図書館の良さや、必要な時に図書に戻る行動を引き出すのではないかと思いますので、ぜひお願いしたいです。

とても素敵な図書館があるので、自分で行けるような年齢になったら、大勢の人に来てもらえるように、そういう体験を子どものうちに働きかけることはできないかなと思います。

館長

図書館では、生涯にわたる読書活動の推進を目標にも掲げております。中でも乳幼児期、幼少期の読書活動は、生涯の読書率の決め手になるととても大事な時期だと図書館でも考えているところです。

ご指摘いただきましたとおり、訪問先が限られ偏っている状況は、同じ飯能地域に住みながら、公平なサービスという観点から乖離してしまうところもありますので、いただいたご意見を生かしながら、来年度の事業は、学校と調整しながら進めて行く方向で考えたいと思います。

主査

図書館に来館することが困難な子どもはたくさんいるので、こちらから学校に出向くことは、子どもたちに図書館や本の楽しさを伝えたり、子どもの読書を推進するにあたって、非常に重要なことだと思っています。現在は、図書館から離れた学校への訪問が多く、学校側から依頼を受けて訪問しています。

その他の学校では、図書整理員さんがブックトークをしている学校もあると聞いています。学校との連携は図書館としても大変重要だと考え

ておりますので、学校訪問を含めて、連携を更に強化して、図書館から子どもたちに読書支援できることはないかを学校と協議しながら進めていけたらいいと考えております。

委員 各学校に、図書整理員さんがいて、活動し取り組んでいることと思います。学校図書館の利用も増えるようにと思い、図書館訪問もお伝えしました。

委員 図書館見学は、学校側から見学に来たいです、と依頼があって成立するのですか。それとも図書館側から見学できますと各学校に連絡するのですか。

館長 図書館見学は、学校側から図書館に依頼があって、図書館で受け入れる形です。主なものは、小学校2年生の時に公共施設を使おうという単元があり、その中の一つで図書館に来られます。その他、図書館の本を使つての調べ学習のため何人かで来館させてほしいという依頼もあります。

委員 学校施設訪問についても学校側からの依頼ですか。

主査 どちらも学校から依頼があります。

委員 図書館からは働きかけないのですか。

主査 毎年、年度初めに校長会や図書主任の先生の会議等で、図書館でできるサービスとして、図書館見学の受け入れや団体貸出などの情報提供をして、ぜひ利用してくださいとういことでご案内しています。

委員 12歳以下で本を読まない子は、大きくなって試験の時に問題文を読まない子が多く、文書を読むスピードが遅いです。画像を見ると分かるのですが、文字から意味をくみ取るのが遅い傾向があるように見受けられます。将来の受験や勉強の時に困るので、12歳以下に本は読んでもらいたいと思いますので、図書館の方には頑張ってもらいたいと思います。

委員長 ほかに質疑、ご意見はございますか。

委員 資料2の評価項目4開架の貸出可能資料の蔵書回転数と評価項目5の開架新鮮度について、相関係数は出しているのですか。

図書館に来る人は、新しい本ばかりを見るのではなく、興味のあるものを見るのだと思います。年齢性別にもよるでしょうが、新しいものの中で目移りしながら選ぶのが好きなのではないでしょうか。必ずしも評

評価項目 5 が高いから良いのではなく、これを出すのであれば、どういうところで効果があるのかが出ないと、数字を追うのは大変ではないかと思いました。目標設定も大事ですが、関係性を考えると利用者の傾向が見えてきます。

低いけど成果が上がっているのなら力を入れるなどの力配分を見るうえでも、相関係数を出すといいのではないのでしょうか。年齢層によってはどうなのかなどとみると、関係性が見えてくるのではないかと思いました。

もう一点、評価項目 13 の 12 歳以下の子ども 1 人当たりの貸出数ですが、悲観する必要もなく、興味を持てば読むという子も少なからずいると思います。減った理由は、コロナの関係もあると思います。

資料 1-4 の名栗の鳥を探しに出かけようは、とても良いと思います。人は経験があつて、それに魅かれて次の行動を起こすものです。実際に鳥の声を聞いて、その経験をしたことが読書につながる。鳥の本があることなどを紹介し、野鳥図鑑、エッセイなどと広がっていく。外に出られるようになったこともありますし、関係機関とコラボレーションすることもできると思います。

もう一つ、資料 1-3 その他の保育所配本とはどういうことなのでしょうか。

主 査 保育所配本は、市内の各保育所に図書館から 100 冊程貸し出し、保育所に通っている児童や保護者に自由に見ていただけるように本棚を作って置いているものです。

委 員 児童館はやらないのですか。児童館にも図書室があります。学校とは違った場所、遊びのスイッチが入る児童館や学童保育などで見る本はまた違うものだと思います。今は、高校生や、保育所入所前の親子などがいたりします。飯能市には美杉台児童館などがあります。本を提供する機会、本にふれあう機会を与えると、違うチャンネルが増えるのではないかと思います。来年度、そういう目線で見えていくとまた変わってくるのではないのでしょうか。経験を通じ付随して本を提供し機会を与えると、本に触れあうことも増えるのではないかと思います。

館 長 図書館を利用する方は、人口の 2 割位と言われているので、今のご意見を総じて、いろんな方がいらっしゃるところです。図書の新鮮度も大事ですし、どのようなことに興味を持たれるかもそうですし、子どもの可能性も含めて、多様性が尊重される時代にもなっておりまして。多角的な視線でサービスもいろいろな方法で可能性を見出して考えていきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

委 員 ほかに質疑、ご意見はございますか。

- 委員 開架新鮮度のところで、受け入れ数が思ったより少ないと気が付きました。市立図書館は去年より受け入れ数が 1,000 冊くらい少ないですが、選書は充実している感じがしていたので、開架新鮮度でこのように苦労しているとは思いませんでした。目標達成率は 67 パーセントですが、貸し出し数や回転率がそこまで下がっていないので、予算内で選んで、運営していることはすごいと感心しました。
- 委員 評価項目 4 開架の貸出可能資料の蔵書回転数と評価項目 5 の開架新鮮度の相関係数を見るというところですが、相関を出すのは図書館職員で、一般市民に分かるようにシンプルに数字で出し、ホームページにも公開し見てもらいましょうというのが趣旨です。
- 比較については、新しい本が入れば入る程利用されるのであれば、回転数は上がっていくだろうという推測が成り立ちます。それを何年か見ていくと新しい本を毎年毎年入れていき、予定目標数値で移行した場合に、回転率が同じくらいであればうまくいっているということです。本をいくら入れ替えても全然回転数が上がらないということは、貸し出しが増えていないということです。利用者に見えるところの本が新鮮なもので保っているにもかかわらず、誰も本を借りてくれなければ、回転率は上がらないということになり、違うところに原因があるのではないかととなります。これは、サービスの見直しが必要で、本だけが原因ではないということになります。利用者の興味を引くものだったり、図書館を利用しない人が来てくれるように見直さなくてははいけないと思います。
- 逆に回転率が上がっているのに、新鮮度が上がってないという先程の話ですが、これはこれで好ましいですが、では、もっと新鮮度を上げればもっと増えるのかと見ていく、両者の上がり下がり比べることによって図書館利用者層がどうなっているのかを図書館職員が判断する指標なのです。2 つ比べてみて他のところの原因やこうするべきということを見ていこうというのが元々の目的で、こちらを作ったのです。
- 委員 数値だけでは複雑で分かりづらい部分もあるので、ある程度見比べて、何年かで見えてきたら見やすい文書で示すことも必要だと思います。
- 委員長 ほかに質疑、ご意見はございますか。  
(質疑無し)
- 委員長 質疑が無ければ次に移ります。
- 委員長 続きまして、協議事項 (3) 令和 5 年度図書館運営方針(案)についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。
- 館長 (資料 3 により説明) 【紫藤館長】

委員 長 説明は以上です。  
 質疑、ご意見はございますか。  
 (質疑無し)

委員 長 質疑がないようですので、図書館運営方針をこのとおり承認してよろしいですか。  
 ( 異議なし )

委員 長 それでは、令和5年度図書館運営方針(案)の案を消してください。

続きまして、協議事項(4) 令和5年度図書館事業計画(案)についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

館 長 他 (資料4-1により説明)【紫藤館長】  
 (資料4-2により説明)【竹井主査】  
 (資料4-3により説明)【紫藤館長】

委員 長 説明は以上です。  
 質疑、ご意見はございますか。

委 員 資料4-1の6月、11月の新規事業ですが、メツァでのフィンランドイベントは、図書館ではどのようにかかわっていくのですか。

館 長 飯能市フィンランド協会に関わる事業となりますので、市民協働推進課からお声がけいただいた内容です。具体的な案はまだ決まっていません。フィンランド、北欧関係の本を配架したり、来場者に向けてブックトークや本の紹介などを考えております。  
 日程は、6月、11月の最終週の土、日あたりでと言われていますが、図書館では映画会等の事業が重なっておりますので、調整しながら進めていきたいと考えております。

委員 長 ほかに質疑はございますか。  
 ( 質疑なし )  
 それでは今のご意見を参考に作成をお願いいたします。

委員 長 続きまして、協議事項(5) その他について事務局より説明を求めます。  
 (無)

なければ、本日の協議事項は以上でございますので、これをもちまして議長の職を降ろさせていただきます。

主 査	委員の皆様のご協力、ありがとうございました。 図書館協議会委員の2年の任期がここで満了となります。委員の皆様には、2年間大変ありがとうございました。ここで委員の皆様より一言づつお言葉をいただきたいと思います。
全 委 員	(全委員よりあいさつ)
主 査	ありがとうございました。これで閉会といたします。 閉会の言葉を村野副委員長からお願いいたします。
副委員長	( 閉会の言葉 )

午前11時35分閉会

議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

令和 5年 3月 日

議 長 \_\_\_\_\_